

佐久市特別職報酬等審議会（第5回）次第

日時：平成29年7月27日（木）

午後7時から

場所：佐久市役所 8階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）諮問案件について

- ・ 議員報酬の額
- ・ 政務活動費の額
- ・ 委員長報酬額の新設

（2）その他

4 閉 会

佐久市特別職報酬等審議会(第4回) 委員意見要旨 まとめ

委員	議員報酬の額	政務活動費の額	常任委員長及び議会運営委員長の報酬額の新設
1	人口類似市と比較して議員報酬が低い。人口規模を一つの要素として議員報酬を決めてはどうか。	色々な仕事をしたいと考えている議員には少ない。活発に議員活動をしてもらうには、金額はできるだけ飯田市に近付けた方が良い。本来、政務活動費で支出すべきものを、個人の議員報酬から支出しているとも聞く。	議長、副議長は一般議員よりプラスになっている。それと同じで委員長の報酬も増やすべき。委員会をまとめるには一般議員以上に勉強が必要であり、支給されることが委員長自身へのプレッシャーになる。一つの組織をまとめていくには大変な努力が必要。東御市を参考に報酬増をするべき。
2	各種料金等が値上げされていく方向の中で、議員報酬は据置きで良い。	会派で使うということであれば、現状どおりで良い。	委員長ともなれば重責があるので、新設することは良い。
3	議長と副議長報酬は据置き、議員報酬は5%減額。議員数が多ければ議員報酬は低くなり、議員数が少なければ議員報酬は高くなる。県下同規模の飯田市、安曇野市より議員数が10%程度多いので、議員報酬は10%程度低くなる。答申の付帯意見として議員定数の削減を考えていただきたい。このまま議員報酬を引き上げても何も変わらないので、議員定数の問題を絡めて考えた方が良い。	仮に議員報酬を削減すると議員活動ができないということであれば政務活動費を上げて、半年ずつ報告するということが良いのでは。支給総額が飯田市を超えなければ増額して活動に支障がないようにしてもらえば良い。報告の回数を分けて、一度に使わせないような手段を行使していけば良い。	格差を付けるということで委員長報酬を新設することは良い。ただ、金額は今の一般議員の報酬金額で良い。(一般議員の報酬金額は5%減額)一般議員の議員報酬を下げて、そこから政務活動費、委員長報酬を出せば問題ない。支給総額で飯田市を超えないようにする。
4	人口規模を一つの基準と考えていくべき。県内市町村の議員報酬は相当低いと見てとれるので、引き上げるべき。ただし、議員定数はやや多いと思うので、削減を検討するよう付記してほしい。	富山市の話はひどかった。佐久市はそんなことは絶対ないとのこと。そうすると月1万円は低い。金額を上げて良い。	新設は不要。これを新設すると、必ず特別委員長、副委員長もという話になる。その代わり、議員報酬は上げるべき。
5	若い人達にも議員になるチャンスを与えるためには、議員報酬を上げた方が良い。飯田市、安曇野市と比較して、もう少し上げて良い。	相対的に考えると少ない。議員活動を充実していただくのであれば、もう少し上げて良い。	議員報酬、政務活動費が上がるのであれば、新設は不要。
6	議員報酬については、人口類似市と比較するしかない。出された資料は、他団体の報酬が含まれていないが、それなりの金額になるように思える。	チェック機能があるなら、会派にプレッシャーを与える意味でも、会派の縛りの中で増額しても良い。	新設は不要。議員報酬に含まれる。委員長も一生やるものではない。議員の中から互選でなるので、やるのは議員として当たり前のこと。
7	人口類似市と比較するべきではない。佐久市には佐久市の実態がある。他と比べたら議員報酬はどんどん上がっていく。たくさん意見を述べることで色々なことを決めていくうえで大事だと考えるので、議員定数を削減することには反対。議員報酬は据置き。	月1万円、年12万円は少ないと感じる。色々な勉強をして、それを佐久市に活かしていこうとするなら少ない。政務活動費を使った分、議員報酬を下げ、支給総額を変えないという考え方。政務活動費は上げるという意見。	新設は不要。委員長は会派の議員数で決まるので、平等ではない。
8	議員は退職金・議員年金、交際費もない。活動すればするほど出費が増える。議員活動を一生懸命やると他の仕事まで手が回らない。合併時から議員定数を減らしてきたが、議員報酬は上がっていない。佐久市の議員報酬は全国人口類似市と比較して特に低い。今後、若い議員や女性議員にどんどん出てきてほしい。全国の人口類似市の平均に近い金額まで議員報酬を上げて良い。	政務活動費は用途を公開しており、どの会派がどんな活動をしているのかが見える。議員報酬の中に政務活動費を入れると、政務活動が見えなくなる。人口類似市と比較して金額が低い。もう少し増やすことによって議員活動をしっかりしていただく。他市と比較して用途に対するチェックが厳しく対応されている。現在、会派に支給されているが、会派又は議員に支給としても良い。	新設した方が良い。委員長は今以上に指導力を発揮して、委員会を活性化していただきたい。委員長のイニシアチブをしっかりと取ってもらうという意味で新設してはどうか。
9	少子高齢化が進み、佐久市の予算も減少している。国からの補助金も減額され、将来的に財政状況は厳しい。好景気が続いているが一般市民は生活に豊かさを感じていない。議員報酬は据置きで良い。	金額は据置きで良い。	もう少し考えたい。

※ 上記は、会長を除く委員9人分をまとめたもの。